

(その 118) 売却できそうもない家でも丹念に探れば解決できる (2015.7)

昨年の9月のことでした。川崎区に住んでいるKさんが相談に見えられ、長く住んできた愛着のある家だけれども、古くなり建て直しが良いか、売却して処分した方が良いのかと言う相談内容でした。実は2年ほど前にご主人に先立たれ、今はもう誰も住んでおらず建物が古くなり、どうしたものかと考えていたのです。

さっそく、土地、建物の調査を行い、建物が建築できるかどうかの調査をはじめたところ、道路幅が狭く、道路の扱いになっていないのです。一級建築士や、建築指導課にも足を運びましたが、結果は同じでした。

売却も、建て替えもむり

いろいろな業者さんにも相談しましたが、家が建たないので、リフォームしても合わない、購入するのは無理とのことでした。

Kさんから大手の業者さんからの案内を見せられたので、こちらも、問い合わせもしましたが、売買は無理との解答でした。そこで、建物周辺の方や知り合いの方に地道に声をかけ、時間をかけて検討したところ、建物近くの方には良い返事をいただけませんでした。知り合いで一人だけ、安くなるなら買っても良いとの返事を頂きました。

その後今年の2月には売却が完了し、引き渡しも終わり、Kさんには大変喜んでいただきました。

土地、建物が複雑に入り組んで、処分が困難であることがありますが、丹念にあたっていけば必ず、処分できるものだとあらためて実感したところでした。